

交渉情報	NO.61	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2014年5月14日	添付資料:51枚

お中元期業務運行要綱について

(中央交渉情報 日本郵便第290号・4月24日発出)

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日(5月16日)「2014年度お中元期業務運行要綱」について地方本部に説明してきました。

標記の基本方針については、昨年の業務運行状況を踏まえた上で、「業務及び要員配置計画」を策定し、「送達日数(サービスレベル)の確保」、「品質の確保」及び「コストの低減」に取り組むとしており、基本的には昨年度オペレーションを踏襲しています。

「支社資料」は基本方針等の概要、「別紙1」は基本方針・要綱等の詳細、「別添資料」は業務及び要員配置計画の記載事項等、ゆうパックの集配計画の策定、以降出し対応等について記載されています。

詳細は支社資料を参照願います。

以下は地本と支社との確認事項、また意見質問と支社回答(※)です。

- ① 全国引受予測が10,532万個、昨年比115.3%となった根拠と物増に対する要員対策について万全を期す事。
- ※ 現在も行っている同業他社からの大口・中小口等の奪還営業により、今年度目標を達成するための目標とされている、要員対策については、特に夕方・夜間帯の配達が多くなっている現状を踏まえた要員配置計画となるよう準備を進めていく。
- ② 同業他社からの奪還により物増が想定される、保冷容器の確保など備品の配備・不良品については速やかに修理・交換をおこなう事。
- ※ 保冷容器については、昨年末のお歳暮ゆうパックでの増備が完了している、修理・交換については臨機応変に対応していく。
- ③ 新潟中央局は狭隘であるが、代替施設の確保状況について。
- ※ 新潟中央局東港分室を通年で借用し、お中元期も含めて対応可能である。
- ④ コスト低減とあるが具体策は。
- ※ 効率的な通配業務、業務運行及び品質の確保に必要なコストは見込んだ上で、生産性の向上、適正な要員配置、積極的な他部応援、臨時運送便の抑制等により低減につなげる。

⑤ 臨時便の設定について。

※ 今年度の予測を精査した上で、効率的なダイヤ案を各局に求めているところ。後日、情報提供したい。

以上について意見交換しました。特に地本は、「コスト低減の趣旨は理解するが、必要なものまで削減し、サービス、業務運行、品質に支障を来すことのないよう指導を願いたい。また、現場で良く意見交換できるよう対処されたい。」と申し入れ、支社も確認しています。

標記業務運行に対して、齟齬や問題が発生した場合は、単局窓口等で対処するとともに、地本へ連絡願います。

【労使対応】 情報提供